



善中堂燿

義凡



入5
6673
13

上

明也ぬあは白あはるの文^上に

あうつゝいそゝくか福を屋のり

し心い

全

押をくゝあめあるもりこそと

うはあそあうつ相のか福

ま味木あ

女
態

冬
交

清高に昔の崩も埋もさく

そゝぬあ福の昔年を病し

圓く海もあ

全

通海もあうつゝみくつ相乃

か福く物りしかひあうん

あはあ

全

乃てえい花もやちん夕乃れ

冬

ああうつゝあひのう福

し心い



はゆ人のかろくゆりて
風情本気

三
まじりにたふよふまはるるまに
まじり

ちりそあまの人のまはるる
臨堂

言林も帰

引
義丸

母たふあまふまはるるま
福くにこそく夕まのま

福くにこそく夕まのま
林のまのまはるるま

義丸

ふまはるるまはるる夕まのま

林のまのまはるるま
林のまのまはるるま

全
ま

風流ふまのまのまはるる夕まの

まはるるまはるるま

まはるるまはるるま
まはるるま

全
ま

まはるるまはるるまはるるま

まはるるまはるるまはるるま

まはるるまはるるま
まはるるま

田里

みき

三
まろ新^{これニ}のちのふえくくとまのちの

まのち田母はくを夕雲のえ

〜田母はく

全
善

まのち志多は田母はくはくはく

まのち月と板はくはく

まのち月と板はく

全
善

妓女討鏡

新
打向ふ家西新の福もいん

新
打向ふ家西新

鏡も又の家のとくがく

〜新

全
善

まのち小〜まのちあまのちのちのち

まのち鏡のちのちのちのち

〜新

思君丸
是の画の中
〜新

寛母